

## 第7回(平成18年度)IODP 部会・執行部会議事録

日時:2006年12月4日(月) 13:30～16:30

場所:海洋研究開発機構東京事務所 大会議室

出席者(敬称略)

執行部:鈴木徳行(北海道大学) 阿波根直一(北海道大学) 荒井晃作(産業技術総合研究所)  
石橋純一郎(九州大学) 北里洋(海洋研究開発機構) 白井正明(東京大学海洋研究所)  
山田泰広(京都大学) 山本啓之(海洋研究開発機構)

オブザーバー

文部科学省海洋地球課:宮崎貴雄  
海洋研究開発機構国際課:鷺尾幸久 笹山岳大  
海洋研究開発機構 CDEX; 木戸ゆかり  
事務局:山田泰 長橋徹 加賀谷一茶

欠席者(敬称略)

海野進(静岡大学) 佐藤時幸(秋田大学) 佐柳敬造(東海大学)

議事次第

### 1. 報告事項

国際 SAS 関連

- (1)IODP・SAS 委員会／パネル委員ローテーションについて:事務局
- (2)SSEP 札幌会議報告;石橋委員、事務局
- (3)「ちきゅう」試験掘削航海フィードバック:木戸オブザーバー

普及／広報活動関連

- (4)会員提案型活動経費募集結果について:事務局
- (5)第2回 IODP 成果報告会報告:事務局
- (6)IODP 大学&科学館キャンペーン(熊本)報告:事務局
- (7)IODP 国内戦略会議について:鈴木部会長

## 2. 審議事項

### J-DESC 関連

- (1) 執行部会の任期について: 鈴木部会長
- (2) J-DESC 会費について: 鈴木部会長

### J-DESC・専門部会関連

- (3) 第3回科学計測部会・提言対応について: 事務局

### 普及／広報活動関連

- (4) 惑星連合大会「地球掘削科学」セッション提案について: 石橋委員、事務局
- (5) 平成19年度 IODP 大学&科学館キャンペーンについて: 白井委員、事務局
- (6) J-DESC News Letter Vol. 02 目次(案): 事務局
- (7) 「Sand for Students」(IODP E&O 活動)協力について: 事務局、鷲尾オブザーバー

## 3. その他

- (1) その他の報告事項など
- (2) 次回、執行部会日程

## 配布資料

- 資料 7-1 IODP・SAS 委員会／パネル委員ローテーション表(案)
- 資料 7-2 「ちきゅう」試験掘削航海フィードバックとアクションプラン  
「ちきゅう」船上機器の現状について
- 資料 7-3 会員提案型活動経費下半期募集結果
- 資料 7-4 第2回 IODP 成果報告会報告
- 資料 7-5 IODP 大学&科学館キャンペーン熊本報告
- 資料 7-6 J-DESC・IODP 部会・執行部会会則
- 資料 7-7 J-DESC 会員リスト(正、賛助、個人会員)
- 資料 7-8 J-DESC 会員種別会費内訳(正、賛助、個人会員)
- 資料 7-9 第3回科学計測部会・提言、実行項目について
- 資料 7-10 乗船研究者アンケート結果(科学計測部会まとめ)
- 資料 7-11 XRF 設置提言書(案)
- 資料 7-12 日本地球惑星科学連合大会「地球掘削科学」セッション概要
- 資料 7-13 日本地球惑星科学連合大会・展示ブース申込書
- 資料 7-14 IODP 大学&科学館キャンペーン一覧
- 資料 7-15 J-DESC News Letter Vol. 02 目次(案)
- 資料 7-16 Sand for Students 企画書(案)

## 追加資料

- 「IODP スクール(仮称)」構想について

## 1. 報告事項

### 国際SAS 関連

#### (1)IODP・SAS 委員会／パネル委員ローテーションについて:事務局

標記の件について、事務局より説明がなされた。

##### ・SSEP

前回の札幌会議にて退任された石橋委員、小原委員、伊藤(孝)の後任候補を現在公募しており(12/8 締め切り)、12/4 時点で3人から応募が届けられている。

##### ・EPSP

来年1月の横浜会議で退任となる渡辺委員、古谷委員の後任候補を現在検討中。また、CDEX と Schlumberger との契約により鎌田委員がCOIとなる恐れがあるので、現在対応を検討中。

##### ・STP

12月のサンフランシスコ会議で退任される笠原委員、坂本委員の後任候補を、科学計測専門部会にて現在選出中。

##### ・EDP

6月のドイツ会議にて退任された増田委員の後任に早稲田大学の森田信男氏が就任し、同じく退任された市川委員については選出を現在進めている。また、1月のニューヨーク会議にて退任される手塚委員の後任候補の選出も現在進めている。同会議では、鈴木委員がご欠席される予定のため、代理委員として新井氏(元TAP委員)を選出した。

また、委員の任期について次の説明がなされた。

- ・今年から委員の代理委員がパネルに出席した場合も、出席回数に含まれることになった。
- ・2回連続でパネルを欠席した委員は、そのパネル議長とSPC議長により対応が検討される。

#### (2)SSEP 札幌会議報告:石橋委員、事務局

- ・11月13日から16日に札幌で開催されたSSEP会議について、審査したプロポーザルが全体的に少なかった等の報告が石橋委員よりなされた。

#### (3)「ちきゅう」試験掘削航海フィードバック:木戸オブザーバー

標記の件について、木戸オブザーバーより説明がなされた。

- ・乗船アドバイザーから意見のあったコアフロー、設備等の問題については、対応案を2月までに一度とりまとめた上、意見者にフィードバックを行いたい。平成19年度の予算措置で改修を検討したい。
- ・Paleo Labの設備については、来年の研究航海までに対応できるよう検討したい。
- ・JR(SODV)は、改修内容、特にラボ部分の仕様が変更になる可能性がある。

## 普及／広報活動関連

### (4) 会員提案型活動経費募集結果について: 事務局

標記の件について、期間中 4 件の応募があり、審査委員会で現在審査中であることが事務局より報告された。

- ・前期から審査委員に 1 人欠員となっていたが、今回より静岡大学の海野氏が新たに委員に就任した。
- ・審査委員会の井龍委員が今回同募集に応募しているため、秋田大学の佐藤氏が代理委員となった。
- ・当経費の予算枠の変更は可能であり、他の予算状況を見て検討を行う。

### (5) 第2回 IODP 成果報告会報告: 事務局

10/28 に開催された標記の件について、参加者アンケート結果を基に事務局より報告がなされた。

- ・本報告会の開催は、メーリングリストへの案内で知った方が多かった。
- ・参加者は、科学的な動向に興味をもって参加された人が多かった。
- ・今後は、科学博物館、日本科学未来館等での開催も検討する。
- ・他学会との開催日程の連携を検討する。

### (6) IODP 大学&科学館キャンペーン(熊本) 報告: 事務局

標記の件について、事務局より説明がなされた。

- ・期間中の参加者数は、大学:31 人、博物館:276 人であった。
- ・地元のラジオ番組にて、CDEX の長谷部氏による事前の告知が行われたが、より効果的な宣伝活動を行うことが今後の課題である。
- ・展示内容、展示物の説明を充実させる必要がある。(KT ダミーコアの展示、サンプルコアへの説明記載等)
- ・アンケートの感想欄に科学的な質問が書かれている場合の対応はどのようにするか。  
→質問のまとめは事務局で対応し、返答等は CDEX で対応する。

### (7) IODP 国内戦略会議について: 鈴木部会長

標記会議を 1/26、27 に札幌にて開催を検討しているとの報告が、鈴木部会長よりなされた。

- ・MEXT、JAMSTEC、J-DESC、大学関係者等で 10 名程度の参加を予定している。
- ・会場費は J-DESC にて負担する。

## 2. 審議事項

### J-DESC 関連

#### (1) 執行部会の任期について: 鈴木部会長

前回の執行部会にて提案された部会委員任期を3年から2年へ変更する提案について、鈴木部会長より説明がなされた。

- ・J-DESC 運営は軌道に乗りつつあり、仕事量が増加傾向にある。
- ・3年という任期が、執行部会委員の人选の際に足かせになっている。
- ・任期を変更した際のローテーションはどうするか。委員の大量交代は行わない。
- ・副部会長(Co-Chair)を設置し、次期部会長候補を早期に立てるのはどうか。  
→引き継ぎ期間を設け、円滑に移行できるよう配慮する必要がある。
- ・SAS パネルの動向把握のために、J-DESC として国際パネルヘリエゾンを派遣することを検討する必要がある。

任期については、執行部会にて引き続き検討を行うこととする。

#### (2) J-DESC 会費について: 鈴木部会長

標記の件について、阿波根委員より説明がなされた。

- ・会員機関には、機関内にIODP/ICDPに関わる人が数名のみのところもあるため、組織規模に関わらず一律10万円という会費は、理解を得にくくなりつつある。  
→会費を参加機関の規模等でランク分けするのはどうか。
- ・若手の乗船研究者を支えるファンドを創設するのはどうか。(費用対効果をアピールする必要がある)  
→検討を続けることとする。

### J-DESC・専門部会関連

#### (3) 第3回科学計測部会・提言対応について: 事務局

標記の件について、科学計測部会にて2つの提言が決定されたことが阿波根委員より報告された。

提言1: 「ちきゅう」への蛍光X線分析装置(XRF)設置

- ・本提言は、J-DESC IODP 執行部よりCDEXへ提出する。

提言2: J-DESC 乗船研究者アンケートの結果公表

- ・結果は、PDFとしてJ-DESC ホームページ上で公開する。
- ・PMO 会議での公表等、海外に向けて発信するために英語版の制作を検討する。

非破壊計測ワーキンググループ委員再任が斎藤部会長より提案され、執行部により承認された。

また、高地コアセンター主体として現在実施しているコアスクールを発展させ、J-DESC を主催とする件について、以下の内容が話し合われた。

- ・J-DESC 主催としても、現在実施されているコアスクールと内容にはなんら変わりないと思われる。  
→実施するならIODPとしてではなく、地球掘削科学として実施するべきである。
- ・J-DESC として様々なコースを開催するのは、現状では困難だと思われる。  
→これまでどおりの実施形態とし、J-DESC は後援を行うことを検討していきたい。

- (4) 惑星連合大会「地球掘削科学」セッション提案について:石橋委員、事務局  
標記の件について、石橋委員より準備状況の報告がなされた。
- ・セッション名は「地球掘削科学」とした。
  - ・セッション開催日は、学会最終日としたい意向を学会事務局へ伝えている。
  - ・IODP 成果報告会を、セッション翌日に東京周辺にて開催する。  
→東京大学の小柴ホールにて開催する方向で検討する。  
→一般向けの成果報告会を科学未来館等で開催することを検討する。
  - ・ブース展示は、IODP ブース内にて J-DESC の展示をすることを検討する。
- (5) 平成19年度 IODP 大学&科学館キャンペーンについて:白井委員、事務局  
標記の件について、2 月頃までに開催日程と候補地を決める予定であることが、白井委員より説明された。
- ・現時点で挙がっている開催候補地を前提に検討する。  
→三菱科学館、江ノ島水族館等での開催も検討してはどうか。
- (6) J-DESC News Letter Vol. 02 目次(案);事務局  
標記の件について、来年3月末発行を目標に準備中であることが事務局より報告された。
- ・現在の目次案を基本に次回の執行部会まで検討を続ける。
  - ・IODP Town Hall Meeting 報告記事は、AGU へ参加される山田委員に執筆していただく。
  - ・Vol.1 の残部数が少ないため、将来的に増刷を行うことを検討する。  
→会員機関への配布は、送付希望部数を確認して送付したらどうか。
  - ・Vol.2 では当初から 2,000 部を印刷する予定である。
  - ・Vol.1 の英語版を制作するための見積もりを事務局にて確認する。
- (7) 「Sand for Students」(IODP E&O 活動)協力について;事務局、鷺尾オブザーバー  
JAMSTEC が IODP の E&O 活動の一環として実施を予定している標記プログラムについて、当活動に対する外部協力者の派遣等で、J-DESC の協力を希望するとの説明が、事務局と鷺尾オブザーバーよりなされた。
- ・当プログラムは、既に昨年1度試験的に実施している。
  - ・参加者による活動成果報告を JPGU 等で実施することを検討している。
  - ・内容的に、日本堆積学会とも協力できるのではないかな。

### 3. その他

#### (1) その他の報告事項など

12月19日に第9回深海掘削委員会が開催される。

#### (2) 次回、執行部会日程

来年1月の最終週に開催する予定で調整してする。